

ご挨拶

謹啓

霜寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

獨協医科大学越谷病院の岡田弘です。この度、平成 28 年 2 月 7 日（日）に、第 4 回目の特定非営利活動法人日本・がん生殖医療学会（JSFP）シンポジウムとして、“がんと生殖に関するシンポジウム 2016～男性がん患者の妊孕性温存について考える～”を都市センターホテル（東京）にて開催することになりました。

皆様もご存知のように、特に小児がん治療におきましては、近年の集学的治療の飛躍的な向上に伴い、治療後の QOL を念頭においたきめ細やかな対応が必要な時代に変遷しつつあります。男性がん経験者には、その後遺症として妊孕性の障害を含めた臓器機能障害・二次がん・心理社会的影響など、さまざまな慢性的健康問題が存在することが指摘されています。男性がん患者の場合、思春期を過ぎていれば精子凍結保存という妊孕性温存手段が存在しますが、診断から治療開始まで時間的猶予がないために事前に精子凍結などの妊孕性温存を行う時間がなく、あるいはその様な情報を得ることなく治療が開始され、寛解後に不妊となる可能性が少なくありません。

このような状況の中、がん治療の晩期毒性に関する専門的知識を持つ医療者の育成はまだ満足のいくものではなく、小児がんサバイバーが専門スタッフへアクセスする手段も不十分と言わざるを得ません。小児がんサバイバーの将来の妊孕性に対する希望を絶やさないため、このシンポジウムが医療者側の現在のエビデンスを含めた知識の整理と今後の治療法の開発、将来の医療者間あるいは患者・医療者間のネットワーク構築のきっかけになればと考えております。

今回のシンポジウムには、腫瘍内科・血液内科・小児科・小児外科・産婦人科・泌尿器科、看護師、臨床心理士、薬剤師、その他患者支援団体代表者や元患者さんなど多岐にわたる方々の参加が見込まれております。そして、生殖医療（男性）や男性のがん専門医などからの御講演もお願いしており、がん・生殖医療問題を多角的に分析しながら、より活発なディスカッションができると確信しております。

日本泌尿器科学会会員の皆様のご出席を心よりお待ちしております。

敬白

平成 27 年 12 月吉日
獨協医科大学越谷病院
副院長 岡田 弘



特定非営利活動法人

日本がん・生殖医療学会

がんと生殖に関する シンポジウム2016

男性がんと生殖機能の温存を考える

日時

2016年2月7日(日)

会場

都市センターホテル 3F コスモスホール

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1

世話人

岡田 弘 (獨協医科大学越谷病院 リプロダクションセンター)

大山 力 (弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学)

吉田 淳 (木場公園クリニック)

参加費

医師…7,000円 / 医師以外…5,000円



【主催】 特定非営利活動法人 日本がん・生殖医療学会

【共催】 平成27年度厚生労働科学研究費補助金(がん政策研究事業)「総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」代表：堀部敬三

平成27年度厚生労働科学研究費補助金(がん政策研究事業)「小児・若年がん長期生存者に対する妊孕性のエビデンスと生殖医療ネットワーク構築に関する研究」代表：三善陽子

【運営事務局】 (株)ヒューマンリプロ・K 〒226-0003 横浜市緑区鴨居6丁目19-20 Tel: 045-937-1039 Fax: 045-937-1029

がんと生殖に関するシンポジウム2016

男性がんと生殖機能の温存を考える

プログラム : 日時: 2016年2月7日(日) 8:55~17:00 (受付開始 8:20~)
: 会場: 都市センターホテル 3F コスモスホール

8:55~ 9:05	Opening Remarks Oncofertilityへの期待 演者:吉村 泰典 (内閣官房参与/慶應義塾大学 名誉教授) 座長:鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授)
9:05~10:05	男性がんによる生殖機能低下のメカニズム 座長:大山 力 (弘前大学 泌尿器科学 教授)
(9:05~ 9:25)	・ 男性がんによる性機能障害 演者:海法 康裕 (東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座・泌尿器科学分野 講師)
(9:25~ 9:45)	・ 男性がんによる精子形成能低下-概説(化学療法) 演者:押尾 茂 (奥羽大学薬学部 教授)
(9:45~10:05)	・ 放射線治療による生殖機能低下 演者:副島 俊典 (兵庫県立がんセンター 放射線治療科長)
10:05~11:05	男性がんによる性機能障害への対策 座長:岡田 弘 (獨協医科大学リプロダクションセンター長/教授)
(10:05~10:25)	・ 射精障害への対策 演者:福原慎一郎 (大阪大学大学院医学系研究科器管制御外科学講座(泌尿器科学) 助教)
(10:25~10:45)	・ 射精障害への補助生殖医療 演者:吉田 淳 (木場公園クリニック 院長)
(10:45~11:05)	・ 性機能障害に対する外科的アプローチ 演者:永尾 光一 (東邦大学 泌尿器科学 教授)
11:05~11:25	休憩
11:25~12:25	男性がんによる精子形成能低下への対策 座長:鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授)
(11:25~11:45)	・ 精子形成能低下の予防 演者:岡田 弘 (獨協医科大学リプロダクションセンター長/教授)
(11:45~12:05)	・ 精子の免疫能と耐凍能 演者:島田 昌之 (広島大学大学院生物圏研究科 准教授)
(12:05~12:25)	・ 精巣の凍結保存 演者:小川 毅彦 (横浜市立大学医学群分子生命医科学系列プロテオーム科学 教授)
12:25~12:35	休憩
12:35~13:25	ランチョンセミナー (共催:小林製薬株式会社) ・ 食育から見たメンズヘルス 演者:山田 静雄 (静岡県立大学薬学研究院附属薬食研究推進センター長) 座長:高井 泰 (埼玉医科大学総合医療センター産婦人科 教授)
13:25~13:45	休憩
13:45~14:45	精子凍結保存のネットワーク 座長:吉田 淳 (木場公園クリニック 院長)
(13:45~14:05)	・ 当院における精子凍結保存の現状 演者:萩生田 純 (東京歯科大学市川総合病院泌尿器科 助教)
(14:05~14:25)	・ 精巣腫瘍患者における挙児の実態 演者:小川総一郎 (福島県立医科大学泌尿器科学講座 助教)
(14:25~14:45)	・ アンケート調査の結果 演者:小林 知広 (獨協医科大学リプロダクションセンター 助教)
14:45~15:15	教育講演 ・ Onco-TESEについて 演者:岩本 晃明 (国際医療福祉大学大学院 教授/NPO法人 MIDS男性不妊症ドクターズ 理事長) 座長:竹原 祐志 (慶愛クリニック 院長)
15:15~15:25	休憩
15:25~15:55	心理的支援 ・ がん生殖医療カウンセリングの取り組み ~男性がん患者の精神的サポートを考える~ 演者:奈良 和子 (亀田総合病院 臨床心理室 主任) 座長:高見澤 聡 (国際医療福祉大学リプロダクションセンター 教授)
15:55~16:25	パネルディスカッション ・ がんサイバーからの提言 演者:楠木 重範 (チャイルド・ケモ・クリニック 院長) 改發 厚 (精巣腫瘍患者友の会(J-TAG) 代表) 座長:森重健一郎 (岐阜大学医学部産科婦人科学 教授)
16:25~16:30	閉会の辞 ・ 閉会挨拶 森本 義晴 (HORACグランフロント大阪クリニック 院長)
16:30~16:40	休憩
16:40~17:00	年次総会